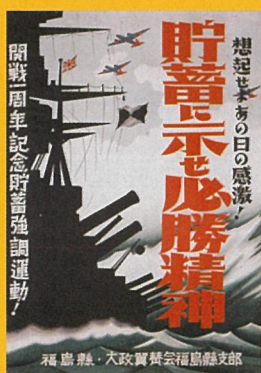


昭和館 巡回特別企画展

戦中・戦後のくらし 福島展

戦中・戦後という厳しい時代を生き抜いた人々のくらしや想いを、福島県にかかわる実物資料や写真などから紹介します。



ポスター「貯蓄に示せ必勝精神」
昭和17年



ポスター「第7回国民体育大会秋大会」
昭和26年

協賛 一般財団法人福島県遺族会及び一般財団法人日本遺族会第1ブロック

3 館 同 時 企 画 展

しょうけい館

しょうけい館 (戦傷病者史料館)

—福島展—

戦争で傷つき、あるいは病にたおれた方と
そのご家族が戦中・戦後に体験したさまざまな
労苦を紹介します。



県内の戦傷病者の方から
寄贈された箱根式車椅子

平和祈念展示資料館

平和祈念展 in 福島

～福島から出征した二人の兵士が見た満州とシベリア～

鉄道連隊にいた元兵士が持ち帰った満州での
部隊写真や、シベリア抑留者が描いた絵画作品
と関係する実物資料を紹介します。



▲「夕食の分配」佐藤清画



▲ハルビン駅に出勤した鉄道連隊の軌道車

令和元年
10月17日(木)～10月27日(日)

時間 9:30～17:00 (最終入場 16:30)

会場 とうほう・みんなの文化センター
(福島県文化センター) 3階展示室

入場
無料

主催:昭和館(厚生労働省委託事業)、しょうけい館(厚生労働省委託事業)、
平和祈念展示資料館(総務省委託事業)

共催:公益財団法人福島県文化振興財団

後援:福島県、福島県教育委員会、福島市、福島市教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社、
NHK福島放送局、ラジオ福島、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー
福島、ふくしまFM

3 館 同 時 企 画 展

昭和館 巡回特別企画展

戦中・戦後のくらし 福島展

昭和館（東京・九段下）は、戦中・戦後における国民生活上の労苦を後世に伝える博物館です。本展では、福島県にかかわる資料を中心に、厳しい時代を生き抜いた人々が綴った手記や、その姿を記録した写真、当時の実物資料などを通じ、当時を生きた人々の様々な想いや、苦難の多かったくらしの様子を紹介します。



▼食べ物不足をおぎなうために
洋品店前につくられた菜園・福島市
昭和20年（1945）11月10日
米国立公文書館提供

郡山駅東方にあった▶
軍需工場地帯の焼跡・郡山市
昭和21年（1946）
『写真集 ふくしま100年』
（福島民報社）



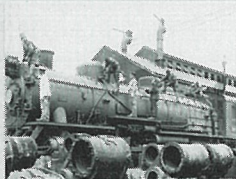
平和祈念展示資料館

平和祈念展 in 福島

～福島から出征した二人の
兵士が見た満州とシベリア～

平和祈念展示資料館（東京・西新宿）は、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について知ることができる施設です。本展では、鉄道連隊に所属していた元兵士が従軍先の満州から持ち帰った部隊写真と、シベリア抑留者が収容所での体験を描いた絵画を中心に展示します。福島県出身者の二人が残した写真や絵画を通して、戦争の記憶をたどります。

▼満鉄の工場で実習をする初年兵たち



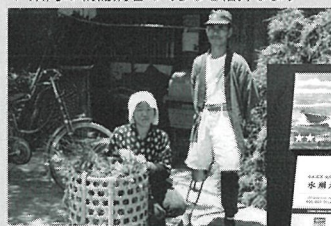
▲「収容所の冬景色」佐藤清画

しょうけい館

しょうけい館（戦傷病者史料館）—福島展—

しょうけい館（東京・九段下）は、戦傷病者とそのご家族が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦を後世に伝える施設です。本展では、福島県にゆかりのある資料を展示し、県内で収録した8名の戦傷病者の証言映像を上映します。また、芸術分野で活躍された戦傷病者の作品などを紹介します。

▼県内の戦傷病者のくらしを紹介します



▲左手一本で描いた海洋船舶画家
上田毅八郎の作品を展示します

同時開催

公益財団法人福島県
文化振興財団主催

東京2020応援プログラム
「学ぼう、感動を！」



円谷幸吉メモリアルホール提供

お問い合わせ先

昭和館

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1
TEL.03-3222-2577
<https://www.showakan.go.jp/>

しょうけい館

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13
ツカスキスクエア九段下 TEL.03-3234-7821
<http://www.shokeikan.go.jp/>

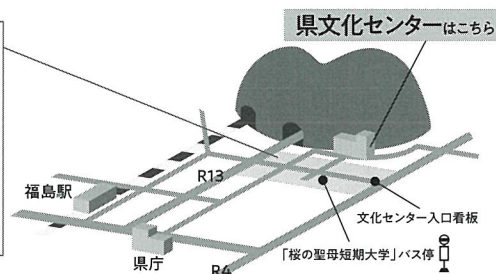
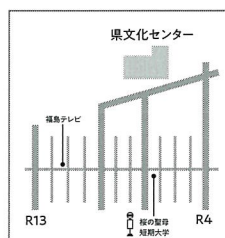
平和祈念展示資料館

〒163-0233 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル33階 TEL.03-5323-8709
<https://www.heiwakinen.go.jp/>

福島県歴史資料館

〒960-8116 福島県春日町5-54
TEL.024-534-9193
<http://www.history.fcp.or.jp/>

会場アクセス



市内バス案内

福島駅東口バス乗り場（9番）より市内循環バス（1・2コース）に乗車、『桜の聖母短期大学』停留所下車。徒歩5分。（運賃100円、本数は1時間に6～10本、乗車時間15分程度）

高速道路からのご案内 駐車場 約450台

飯坂インターチェンジから国道13号線で福島市街地に向かい、信夫山トンネルを出て、2つ目の信号を左折、7つ目の信号を左折してつきあたり。（距離5.5km 所要時間約10分）

福島西インターチェンジから国道115号線で福島市街地に向かい、国道4号線を左折して仙台方面に北上、旭町交差点を左折して3つ目の信号を右折してつきあたり。（距離8km 所要時間約20分）